

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2 単位	学年	1 年	コース	選択
使用教科書		教育出版「書道 I」		使用副教材等					

目標	書道の幅広い書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。 (1)書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。 (2)書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統を文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようになる。 (3)主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 書表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 [書に関する知識・教養] [作品制作に関わる技術・技法] 	<ul style="list-style-type: none"> 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりしている。 [思考:全体構成・題材選定] [判断:筆法技術・色彩表現] [表現:創意工夫・完成作品] 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 [用具用材の取り扱い・取り組み姿勢] [内容理解・応用] [毎時間の課題提出・レポート]
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 成果物(臨書および創作) 表現の工夫(知識) 全体の構成(技能) ワークシート(鑑賞記録) 	<ul style="list-style-type: none"> 成果物(臨書および創作) 表現の構想(意図) 全体の構成(発展的思考) ワークシート(活動記録) 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組み状況(学習活動の様子) 参加状況(出席・態度・発表等)

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> 書の表現や鑑賞の学習するうえで、自らの感性を大切にしてもらいたいと思います。また、書のよさや美しさを感じ、生活や社会における文字や書、書の伝統と文化に興味と関心を持って取り組んでもらいたいと考えています。 古典の臨書活動では、それぞれの古典の特徴を捉えつつ、効果的に表現する技能を身につけてください。用筆と運筆との関わりを理解し、個々の課題を見極めながら個性豊かな表現の技能を身につけてください。 作品の制作活動では、詩文などの言葉の選定や「何を表現しようとしているのか」という意図(過程)を大切に、全体の構成を工夫し、積極的に作品を制作する取り組みをしてください。
-------------	---

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	書写と書道の違い ・用具と用材 ・筆法と姿勢	<ul style="list-style-type: none"> 書写と書道の違いを理解し、あわせて書的美の特質や歴史などについて知識と理解を深めます。 様々な書体(楷書・隸書)の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を図るとともに、臨書学習を通して、各古典の特徴を把握し、楷書と隸書の効果的な表現の技能を身につけ、各古典の特徴と用筆・運筆を理解する。
	5 6	漢字の書の学習 【楷書】・顔氏家廟碑 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序 ・九成宮醴泉銘 【隸書】・居延漢簡 ・曹全碑	
1	7	漢字の書の学習 【篆書】・石鼓文 ・金文 ・泰山刻石 【篆刻】・小篆(印篆)	<ul style="list-style-type: none"> 様々な篆書の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を図るとともに、臨書学習を通して、各古典の特徴を把握し、篆書の効果的な表現の技能を身につけ、各古典の特徴と用筆・運筆を理解する。 篆刻印を作成し、作品に押印することを学びます。印の歴史と表現の多様性について学び、文字文化の視点から書の伝統と文化ならびに生活や社会との関わりについて理解する。
		漢字創作 ・小品制作	
2	9	漢字の書の学習 【行書】・蘭亭序 ・風信帖 【草書】・書譜	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な書体(行書・草書)の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を図るとともに、臨書学習を通して、各古典の特徴を把握し、行書と草書の効果的な表現の技能を身につけ、各古典の特徴と用筆・運筆を理解する。
	10 11	日本の能書家 ・三筆 ・三跡	
2	12	仮名の書の学習 【仮名】・仮名の歴史 ・蓬萊切 ・高野切第三種	<ul style="list-style-type: none"> 様々な仮名の古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を図るとともに、臨書学習を通して、各古典の特徴を把握し、仮名の書の効果的な表現の技能を身につけ、各古典の特徴と用筆・運筆を理解する。 短冊や色紙、連綿や散らし書きなどの表現形式についても理解する。
	3	仮名創作 ・小品制作	
3	2	漢字仮名交じり書の学習 【創作】・詩文の選定 ・全体の構想(文字の配置) ・構成の工夫(余白・筆圧等)	<ul style="list-style-type: none"> 様々な漢字および仮名の古典の学習をもとに、その表現を応用した漢字仮名交じりの書を作成します。詩文の選定、表現形式、用具・用材、全体の構成などを考えながら表現を工夫していきます。 書の表現や鑑賞の創造的な活動を通して、自らの学習成果を実感するとともに、作品の価値を考え、日常生活における書的美の効用と理解を深め、書ならではの見方・考え方を身につけ、これからの学習や生活の中で生かせるようなことを学びます。
	3		